

視覚障害者と 共に働くために

事業主のための雇用支援ガイド

NPOと県との新たな公共サービス提供事業
視覚障害者就労支援事業



ごあいさつ

視覚障害者の就労環境は、大きく変化しています。十数年前までは、視覚障害者の職域といえば、針・灸・マッサージという固定観念が強く、視覚障害者には職業の選択肢がほとんどありませんでした。しかし昨今では、IT技術の進化により新しい職域が広がっています。

スクリーンリーダー（画面を読み上げるソフトウェア）が進歩し、視覚障害者の多くは、パソコンからの情報収集が容易になりました。もはやパソコンは、視覚障害者にはなくてはならないツールです。県や市のホームページでは「スクリーンリーダーをお使いの方は」というメニューも見られるようになり、視覚障害者のアクセシビリティに配慮されたサイトが増えています。

しかし、視覚障害者がパソコンで仕事ができることは、まだ一般的には知られていません。実際には、インターネットはもちろん、メールや文書の作成、表（WORD・EXCEL）の作成も可能です。「見えていないからパソコンは使えない」というのは、もはや一昔前の話です。

このような中、パソコンを活用した一般就労を目指す視覚障害者を支援する視覚障害者就労支援事業が「NPOと県との新たな共同サービス提供事業」に採択され、様々な関係機関の参加・協力を得ながら、研修会やセミナーの開催に取り組んでまいりました。

この冊子では、視覚障害者を雇用する立場の方に向けて、視覚障害者への仕事の配分方法（仕事の切り出し）や就労事例、利用できる制度などをご紹介します。是非参考にさせていただきます。

視覚障害者の一般就労は、私たち当事者だけでは実現できません。就職を斡旋する機関や支援センター、企業の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。視覚障害者と共に働く環境を推進するために、この冊子が少しでもお役に立てれば幸いです。

特定非営利活動法人 ふうおか視覚障害者雇用開発推進センター
～NPO法人 キャリアセンターあい～
理事長 赤松 賢一

CONTENTS

- 2 目次・理事長あいさつ
- 3 視覚障害者の支援機器
- 4 視覚障害者の雇用～パソコンを使った業務について
- 6 福岡県の就労事例紹介
- 10 就労支援機関の役割と支援事例
- 12 教育の現場
- 13 職業訓練の現場
- 14 雇用助成制度と関係機関一覧

この冊子は、以下の組織によって構成される委員会のもとで作成されました。
特定非営利活動法人ふうおか視覚障害者雇用開発推進センター、福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課、福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課、厚生労働省福岡労働局職業安定部職業対策課、九州工業大学大学院生命体工学研究科和田研究室、福岡教育大学特別支援教育講座韓研究室、国立県営福岡障害者職業能力開発校、福岡県立北九州視覚特別支援学校、北九州障害者しごとサポートセンター、有限会社化成フロンティアサービス、特定非営利活動法人Welの会、特定非営利活動法人北九州市視覚障害者自立推進協会あいず、北九州視覚障害者就労支援センターあいず、福岡県視覚障害者友好協会

視覚障害者の支援機器

視覚障害者は活字読み障害者とも言われ、情報を入手するのが困難です。言い換えると、「活字情報が入手できれば、就労の可能性は広がる」のです。IT時代の今、様々な支援機器を活用し、パソコンで仕事をする視覚障害者が増えています。企業で実際に使われている支援機器について紹介します。



点字ディスプレイ（点字電子手帳）は、点字文章の編集だけでなく音声出力もできます。パソコン画面の様子を触覚グラフィックで表示する機器（点図ディスプレイ）も発売されています。

4. 拡大読書機

ビデオカメラで写した本や新聞などの映像を、接続されたテレビや液晶モニターに高倍率で拡大表示（平均2倍～50倍）するための支援機器です。携帯型と卓上型（据置型）があります。拡大率やコントラスト、色反転など自分の目の状態に合わせて両眼で文字を読むことができます。



1. ドキュメントスキャナ

視覚障害者が紙媒体の活字情報にアクセスするためには、聴覚や触覚を使う必要があります。点字（触覚）のほかに、合成音声技術（聴覚）を用いる方法があります。

最近是一般向けに発売された安価で高性能なスキャナで活字文章を電子化し、スクリーンリーダーで文章を読み上げたり、ファイル整理ができるようになりました。スキャナにPC機能やスクリーンリーダー機能を持たせ、資料を瞬時に読み上げる機器（スピーチマシン）は数社から発売されています。

2. スクリーンリーダー

視覚障害者のパソコン操作を支援するために開発されたソフトウェア。Windows操作に必要な情報を音声で出力でき、文書ファイルの解読、活字文章の作成などに役立ちます。

スクリーンリーダーは、キーボードの操作や開いているファイルの内容等を聴覚提示する“ディスプレイ代わり”の役割を果たしています。パソコン画面が見えない全盲者は、マウスを用いず、キーボードのみを使用します。

3. 点字ディスプレイ（ピンディスプレイ）

パソコン画面の内容（電子文章などの言語情報）を点訳し、触知ピン（点字）で表示するための支援機器です。最近ではPCやPDA機能を備えた点字ディスプレイが登場し、視覚障害者のためのノートPCの役割を果たしています。

5. DAISY録音再生機

DAISY（デジタル音声情報システム）とは、Digital Accessible Information Systemの略で、印刷物を読むことが困難な視覚障害者や読字障害者のために作られたデジタル録音図書の国際標準規格です。DAISY録音再生機とは、DAISY規格で録音・編集された音声聞くための機器です。情報検索が容易で録音機能もあるため、仕事に活用されています。



6. 点字プリンター

コンピュータに接続し、点字エディタ（点字ワープロ）や自動点訳ソフトなどで作成した点字データや触図データなどを、点字用紙に凹凸を付け、触覚（点字）資料として出力するための支援機器です。最近ではパソコンだけではなく、点字情報端末機で視覚障害者が作成した点字データを、点字プリンターに直接接続して打ち出すことも可能です。

視覚障害者の雇用～ パソコンを使った業務について

視覚障害者を雇用することは、ただ単に法定雇用率を達成したり、社会貢献事業になったりするという以上のメリットがあります。

例えば、雇用した視覚障害者のために職場内の動線や物の配置を考えることは、職場全体の安全管理につながります。また、企業の業務の効率化やコスト低減の取り組みの一環として行われるペーパーレス化が、視覚障害者の雇用によって推進されることもあるでしょう。

見えないことは、何もできないことではありません。訓練やちょっとした配慮で職場の戦力になることができます。

では、視覚障害者は、どのように通勤し、職場内を移動し、パソコンなどのIT機器を使って業務を行うのでしょうか。



全盲者の講師によるパソコン研修

移動について

見えない人を雇用した場合、毎日安全に通勤できるのだろうかという心配があると思いますが、専門の歩行訓練士から歩行訓練を受けることで、自宅から職場まで自力で通勤することができるようになります。

また、職場内では、床や廊下に物を勝手に置かないようにしたり、物の配置を変えた場合にはそのことをきちんと伝えたりすれば、ひとりで安全に移動することができます。この「整理整頓」は、同じ職場で働く人たちの安全管理にもつながります。

視覚障害者のパソコン利用

スクリーンリーダー（画面読み上げソフト）というソフトを使うことで、全く見えない人でもパソコンでいろいろな事務業務をすることができます。見える人よりスピーディにパソコン操作をして業務をこなしている視覚障害者はたくさんいます。

また、見えにくい人は、パソコンの画面を、Windowsの機能（画面拡大、白黒反転など）を使ったり、専用の画面拡大ソフトを使ったりすることで、見える人と同じようにパソコンで仕事をすることができます。

事務作業の中には、見えないとできないこともあります。見えなくてもできることがたくさんあります。見えなくてもできることを職場の中でうまくシェアリングすることで、視覚障害者が自分の役割をきちんと持った仕事をすることができます。

例えば、職場では、パソコンを使った業務であれば、データの入力から、データを編集、加工、集計して印刷するまでをひとりの担当者がしていることが多いでしょう。大量のデータを処理しなくてはならない場合、入力が得意な人が入力業務を、エクセルのスキルが高い人がデータ処理業務を分担することで、仕事の効率を上げることができます。

このように業務を切り分け、スキルを持った視覚障害者が分担することは、職場全体の生産性を上げるだけでなく、視覚障害者がやりがいを持って働ける場を提供できることとなります。

メールの送受信

メールの送受信は、視覚障害者もほぼ問題なくすることができます。顧客などへ定期的にメルマガを発行する担当者になることも可能です。また、メールを使って社内の各種連絡・通達などをすることもできます。

その他、共通アドレス（infoなど）に外部から届いた迷惑メールを取り除き、必要なメールだけを関係部署へ振り分けて転送する役割を果たすこともできます。

情報検索

インターネット上で情報を収集して報告書にまとめることは、視覚障害者も可能です。例えば、会議の予備資料や顧客向けのお役立ち情報などを、ネットで収集する仕事ができます。

エクセルを使ったデータ加工、集計

入力されたデータがあれば、エクセルの高度な機能、例えば、関数やピボットテーブルなどのデータベース機能を駆使したデータの加工、集計などを行ない、各種の集計表や管理表を作成することができます。

会社全体の売上管理や顧客管理、会計処理などは、パッケージソフトなどを使って処理されていることが多いでしょうが、パッケージソフトで対応できない現場の各種集計表、管理表などがたくさんあると思われる。このような集計表、管理表は、たいていの場合、その場ですぐに活用したいものです。エクセルの関数機能やデータベース機能を使いこなす視覚障害者がいると、そのような集計表、管理表を細かい対応をしながら効率よく作成することができます。

ホームページ作成

アクセシビリティに配慮したホームページ制作、特に視覚障害者が情報を得やすいページを作るには、当事者が最も適しています。htmlやcssによるプログラミングは、視覚障害者にも可能です。写真やグラフィックを取り入れたページ制作は、グラフィックデザイナーとコラボすることで見た目にも美しいページを作ることができます。

また、ホームページのアクセシビリティチェックを視覚障害者が行うことで、アクセシビリティに配慮したホームページになり、企業の信頼性アップにもつながります。

電話対応

全盲者でも電話を使った業務は可能です。ただ、液晶パネルを確認したり、操作ボタンがタッチパネル式の場合は困難です。

代表電話にかかってきたものを担当者に回したり、担当者が不在の場合は、要件を聞いてその内容を担当者にメールで伝えたりすることができます。

また、ほとんどの視覚障害者は、音の出る携帯電話を日常的に利用して、通話やメールのやり取りだけでなく、バスの時刻を調べたり、買い物をしたりしています。携帯電話を使った業務も考えられます。

ワードを使った文書処理

文字ベースであれば、文書を読むことはもちろん、文書を作成することもできます。

また、ワードの高度な機能を使って、大量の文書の中にある統一されていない表記（全角文字と半角文字の混在など）を統一したり、住所が「〇〇町〇丁目〇-〇」、「〇〇町〇-〇-〇」などと不統一のまま入力されているものを、「〇〇町〇丁目〇番〇号」とあつという間に変換できる視覚障害者もいます。

設置主体	住所
国	福岡県福岡市西区今津4820-1
学校法人福岡柔道整復専門学校	福岡県福岡市早良区祖原3-1
学校法人都築学園	福岡県福岡市中央区天神2-9-18
学校法人滋慶文化学園	福岡県福岡市博多区石城町7-30
学校法人九州アカデミー学園	佐賀県鳥栖市松原町1709-2
学校法人平松学園	大分県大分市千代町1-10-1
学校法人長翔学園	長崎県長崎市長崎町2-3
学校法人岩永学園	長崎県長崎市長崎町上銭座町11-8
学校法人高梁学園	宮崎県宮崎市瀬頭2-1-10
学校法人久木田学園	鹿児島県鹿児島市高麗町37-7
学校法人都築教育学園	鹿児島県鹿児島市国分中央1-12-42

▲修正前

学校法人福岡柔道整復専門学校	福岡県福岡市早良区祖原3-1
学校法人都築学園	福岡県福岡市中央区天神2-9-18
学校法人滋慶文化学園	福岡県福岡市博多区石城町7-30
学校法人九州アカデミー学園	佐賀県鳥栖市松原町1709-2
学校法人平松学園	大分県大分市千代町1-10-1
学校法人長翔学園	長崎県長崎市長崎町2-3
学校法人岩永学園	長崎県長崎市長崎町上銭座町11-8
学校法人高梁学園	宮崎県宮崎市瀬頭2-1-10
学校法人久木田学園	鹿児島県鹿児島市高麗町37-7
学校法人都築教育学園	鹿児島県鹿児島市国分中央1-12-42

▲修正後

このように、視覚障害者もできることを理解して職場の業務分担を少し変えるだけで、視覚障害者の職場での役割を与えることができます。

福岡県の就労事例紹介

パソコンを自由自在に操るスペシャリスト。

CASE 1

中村 忠能 (なかむら ただやす)

勤務先/有限会社化成フロンティアサービス

勤続年数/14年目(2014年1月現在)

■経歴

1977年佐賀県生まれ。佐賀県立盲学校保育学級、幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科卒。幼稚部より点字を学習。小学部1年より入寮し、日常生活のスキルや集団生活を学ぶ。佐賀県立盲学校中学部時代からパソコンに興味があり、プログラマーを目指して1996年4月に筑波技術短期大学(現在の筑波技術大学)情報処理科に入学し、1999年3月卒。1999年4月より有限会社化成フロンティアサービスに就職。

■採用に至った経緯

短大卒業年度に就職活動を行う。ハローワークに登録し、就職相談会にも参加したが、なかなか決まらず、故郷に帰って三療の学習のために盲学校に戻ろうと思っていた頃、短大の教授に化成フロンティアサービスを推薦していただいた。

面接を受けた際、パソコンの操作を見て驚かれた(1999年頃は、パソコンを使えるというだけでもすごいと言われていた時代)。就職が決まり実際に働き始めるまでに、必要なソフトなどの打ち合わせを行い入社時にはそろえていただいた。

■見え方

先天性網膜色素変性症、視力は左:0.01、右:光を感じる程度。物を避けたり、画面を白黒反転しレイアウトを確認することは可能だが、足元の物は見づらく、また盲学校時代に物を見なくても生活できるスキルを学習。残存視力を使うことが苦手。慣れた所以外は白杖が必要。

■配慮してもらっていること

- 紙媒体の閲覧物の内容確認、紙媒体の書類への代筆。
- 職場内や職場周辺のレイアウトの変更や一時的な物の移動等の案内。
- 必要に応じて委託先で仕事をするようになった場合のルート練習、工事などによる安全なルート確保と練習。

■主な仕事の内容

- ホームページ作成。
- テープ起こし。
- 音声ファイル加工。
- 点訳、点字名刺作成。
- 当事者相談員。

■職場の声

現在の上司/中村さんはWeb系のプログラムやテープ起こしなどの技術を持つ、スペシャリストです。特にテープ起こしでは、スピードだけでなく、正確度もピカイチです。職場では温和で人懐っこい性格で、皆に慕われています。

元上司/会社における自分の立ち位置を見つけ、会社側も中村さんができる仕事を把握し、それを営業へつなげ仕事を取ってくるの積み重ねで、随分うまくいくようになったと思います。会社行事にも積極的に参加し、駅伝大会では伴走付きで1.4kmを完走しました。人との輪を広げ、コミュニケーションをとることも大切だと思います。

同僚の視覚障害者/2002年の4月から10年ほど中村さんと仕事をしています。中村さんが主担当として進めている作業の働きぶりには、とても感心させられることがあります。普段からお互いの仕事についての情報共有や情報交換をしており、私にとっても良い学びになっています。

■職場紹介

会社名/有限会社 化成フロンティアサービス

障害者の一層の雇用促進を図り、企業としての社会的責任を果たすとともに、一人ひとりが生き活きと働ける職場づくりを実現するため、三菱化学の特例子会社として1993年3月25日に設立。

資本金/2,000万円(三菱化学株式会社全額出資)

主な事業/情報処理サービス・印刷全般・親会社からの受託業務など

従業員/121名(うち障害者78名。内訳、重度53名、重度以外25名)2013年4月1日現在

本社所在地/〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1

TEL 093-643-4390 FAX 093-643-4393

URL <http://kfs.rsi.co.jp/>



音声を聞きながら、点字ディスプレイを使ってパソコンを操作

職場の仲間と連携し、庶務業務にもチャレンジ。

CASE 2

赤星 美穂 (あかほし みほ)

勤務先/サンアクアTOTO株式会社

勤続年数/9カ月(2014年1月現在)

■経歴

福岡県北九州市生まれ。小学校から高校まで普通校で健常者と一緒に生活。高校では盲学校進学を勧められるが、心理学を勉強できる大学に進学。臨床心理士を目指して大学院進学を志すが叶わず、就職活動では就職の厳しさに直面する。その後、福岡障害者職業能力開発校でタイピング、点字などを学び、日商PC検定の資格を取得。2013年4月に就職。

■採用に至った経緯

福岡障害者職業能力開発校の就職担当の先生から、サンアクアTOTO株式会社を紹介されるが、今までの経験上、視覚障害者は相手にしてもらえないという思いと、私に何ができるのだろうという不安があった。

インターンシップ期間中はいろいろな仕事を教えられ、貴重な経験をさせていただいた。また、重度障害者を多数雇用している会社ということもあり、会社の方々が私に対して一人の人間として普通に接して下さったことが、とても嬉しかった。

■見え方

先天性弱視。右:朝顔症候群、左:小眼球症。視力は、右:0.03、左:光覚なし(全く見えない)。眼鏡で矯正しても視力は変化しないため、残存視力を維持していくことが必要。

■配慮してもらっていること

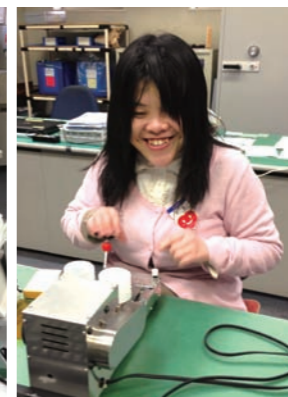
- 電話や来客時に誰が席に座っているかを把握することが難しいため、離席するときは必ず声を掛けてもらう。
- アイコンタクトが難しいので、話しかけるときは必ず名前を言ってもらおう。

■主な仕事の内容

- 点字名刺作成。
- 電話対応。
- 庶務業務。



外部からの電話に明るく対応



名刺に点字印刷をしているところ



同じ部署で仕事をしている人たちと一緒に

■職場の声

上司/「点字名刺」の作成を主に担当していただいています。「見る」行為にハンディがあることは、大変な苦勞があるかと思いますが、赤星さんはそれを全く感じさせません。また、「見る」こと以外の五感、特に聴覚の鋭さには感心させられます。性格も明るく、とてもがんばりやさんです。

同僚/視覚障害者と一緒に仕事をするのが初めてだったので、彼女がどう見えているのか分からず、サポートの仕方も分かりませんでした。そこで課員全員で話し合い、対応策を考えました。お互いが工夫することで、思っていた以上にできることが多くあることに気付かされました。

先輩/第一印象は、笑顔がとても素敵な女性。接して気付いた点は、できることを探すよりも、「まずはやってみて、どうすればできるか」を一緒に考えていくことが大切だということです。主な仕事は点字名刺の作成ですが、総務課として電話対応や庶務的な仕事も少しずつ覚えているところです。

■職場紹介

会社名/サンアクアTOTO株式会社

働く意志と能力がありながら、就労の機会に恵まれない障害者に働きやすい職場を提供。1993年2月設立、1994年7月より操業を開始。

資本金/6,000万円(福岡県1,200万円、北九州市1,200万円、TOTO3,600万円)

主な事業/TOTOの水栓金具や給排水器具などの組立・取扱説明書・チラシなどの印刷物版下制作

従業員/84名(うち障害者49名。内訳、重度36名、重度以外13名)2013年10月1日現在

本社所在地/〒802-0823 北九州市小倉南区舞ヶ丘1-2-1

TEL 093-964-0141 FAX 093-964-0145

URL <http://www.sunquatoto.co.jp/>

福岡県の就労事例紹介

コミュニケーション力を発揮し、区役所職員として活躍中。

CASE 3

田中 佑 (たなか ゆう)

勤務先／博多区役所市民課(福岡市職員)

勤続年数／4年目(2014年1月現在)

■経歴

1985年岡山県生まれ。岡山県の倉敷市立味野小学校・味野中学校・岡山県立東岡山工業高等学校を卒業。大学は建築家を目指し、福岡県の九州産業大学の建築学科に進学。その後、半年間長浜の福岡市立心身障がい福祉センター(あいあいセンター)で、歩行や点字などの訓練を受ける。半年間の訓練を受けた後、10月から麻生公務員専門学校に通い、翌年試験を受けて福岡市役所に入庁。

■採用に至った経緯

初めは建築家を目指していたが、見えにくさのため図面を引く作業等に限界を感じていた。その頃、訓練を受けていたあいあいセンターで、障害者枠の募集があることを聞き、「そういう道もある」と新しい道を見つけ、一年間試験に向けて勉強した。

3人の障害者枠に対して70人以上が試験を受ける中、合格することができた。視覚障害者と聴覚障害者をなかなか雇ってこないということを聞いていたが、気にしても仕方がないと思い試験を受けた。東京や京都の試験も受けたが、福岡市で採用が決まり、現在に至る。

■見え方

後天的網膜色素変性症。15歳のときに初期症状が出始めたが、夜以外はしっかりと見えていた。22歳頃に急激に視力が低下。視力は両目0.2程度で、視野が非常に狭く、中心視野が下なので一瞬で見られる部分はごくわずか。手帳上では95パーセント欠損とされ、サララップの筒で物事をのぞいて見ているような見え方である。

手書きやボールペンなどで書かれた文字は読みにくさを感じることがあるが、視力は0.2程度なので文字は読める。視野が狭いため、お客さんにぶつかってしまうときもある。

■主な仕事の内容

- ・市民課の戸籍の窓口での応対業務。
- ・届書の入力処理。

■業務遂行に必要なスキル

- ・音声ソフトの使い方、点字の習得。
- ・今はまだ見えているので、音声と視力を併用して使えるようなスキルを得たい。

■配慮してもらっていること

- ・椅子等の物を通路に出しっぱなしにしない。
- ・青と緑の区別がつかないため、蛍光ペン等は赤を使用してもらう。
- ・印鑑がきちんと押せているかなどを確認してもらったり、読みにくい文字を代わりに読んで教えてもらったりしている。

■どんな支援が必要か

視覚障害者の就労を増やすためには、視覚障害者＝目が見えないというイメージを脱し、弱視者の存在を知ってもらう必要がある。また視覚障害があっても、音声パソコン等の支援機器があれば仕事ができることを理解してもらうことが大切。覚えてしまえば何でもできるので、最初の先入観でできないと決めつけられないようにしてほしい。視覚障害者の就労がまだ低く、就職に困っている視覚障害者は多いので、法律等で視覚障害者枠を作っていただけたらいいと思う。

■本人の声

係間ではわかってきている方は多いですが、別の係等で接触の少ない人からは、もっと見えているだろうと思われるでしょう。職場環境を覚えるとある程度歩くことができるので、弱視であることが周りにはわかりにくいと思います。見えにくいことを理解してもらえないことに対して、もどかしさを感じることもあります。自分自身も見えにくさを相手にどう伝えていけばいいのか、難しいと感じています。

■職場紹介

会社名／博多区役所

所在地／〒812-8512 福岡市博多区博多駅前2-9-3

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/hakata/>

勤務先／〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-24 リファレンス博多1004



見えにくいことを顧客に伝え、窓口業務もスムーズに対応している

CASE 4

藤田 善久 (ふじた よしひさ) 勤務先／株式会社熊谷組 九州支店 勤続年数／15年(2014年1月現在)

大手建設会社で、多岐にわたる業務を担当。

■採用に至った経緯

九州ロービジョンフォーラムや、NPO法人タートルなどから、福祉関連における情報の提供並びに、就労継続に関する相談支援。国立福岡視力障害センターで約1年、日本ライトハウスで約1年の訓練を受講。

独立行政法人高齢・障害者・求職者雇用支援機構福岡障害者職業センターから視覚障害者を雇用する企業を紹介してもらい、企業訪問並びに面談を受けた。

■見え方

後天的視覚障害。両眼義眼のため、視野・視力ともなし。

■主な仕事の内容

パソコンを使用した電子商取引、建設資材の価格折衝など約10種類の業務を担当。

■業務遂行に必要なスキル

- ・コミュニケーション能力。
- ・業務習得に対する貪欲さ。
- ・業務の改善能力。

■配慮してもらっていること

- ・PDFファイルを配布された際、配布先に連絡して個別にテキスト文書もらう。
- ・インターネット上で業務報告をする際、画面配置が複雑であるため、パソコン操作を交代。
- ・できるかできないかわからない業務でも、2・3度はチャレンジする。
- ・社内における回覧書類の代読。
- ・パソコンの音声が出なくなった際のサポート。
- ・出入り口から近い場所に机を配置。

■本人の声

職場の人は、特別な意識はないと思います。会議などで普段と違う場所に移動するときは、自然に介添えをしてくれます。

■職場紹介

会社名／株式会社熊谷組

「お客様に感動を」をスローガンに、「誠実な営業・施工・フォロー」を実践。

主な事業／建設工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導その他総合的エンジニアリング、マネジメントおよびコンサルティングならびに請負など

従業員／2,192名(2013年3月31日現在)

本社所在地／〒806-0004 東京都新宿区津久戸町2-1



自分を高める努力を続け、仕事の領域を広げている

CASE 5

川上 敏輝 (かわかみ としてる) 勤務先／北九州視覚障害者就労支援センターあいず 勤続年数／9カ月(2014年1月現在)

失明後の訓練を経て、新しい職種にスピード復帰。

■経歴

1967年福岡県生まれ。40歳過ぎまで一般企業で各種重機のオペレーター、営業、事務職として勤務。2000年脳腫瘍のため失明。2012年4月福岡障害者職業能力開発校流通ビジネス科入校。2013年4月北九州視覚障害者就労支援センターあいずに就職。

■採用に至った経緯

視覚障害者対象のパソコン講座や、パソコンサポーター派遣サービスを受けたり、小規模作業所に通所したりしながら、画面やマウスを使わずにパソコンが操作できる技能と知識を身に付けた。

■見え方

全盲(右目はまったく見えない。左目は明るさは認識できないが、電気が点灯したときにはわかることがある)。

■仕事の内容

- ・障害福祉サービス事業所の職業指導員。
- ・IT部門の部門長。

■視覚障害者の就労について

- ・就職を目指す視覚障害者は、職業的スキルアップはもちろん、他者とのコミュニケーション、自己のメンタルヘルスも含む健康維持、自立歩行などができるように日常的に努力すべきである。
- ・視覚障害者を雇用する場合、企業はそれほど特別なことをする必要はないことを知ってもらいたい。

■職場の声

上司／川上さんを採用したのは、豊富な仕事経験を通して身に付けた社会性と、初めてのことに積極的に取り組む姿勢があったからです。職場では、本来の仕事以外に、他部門の利用者の方や職員のパソコントラブルにも対応してもらうなど積極的に動いていただき、皆さんからも大変好評です。今後、他の就労を目指す視覚障害者のモデルになってもらいたいと思っています。

■職場紹介

施設名／特定非営利活動法人 北九州視覚障害者就労支援センターあいず

主な事業／指定障害福祉サービス(就労支援)事業所

本社所在地／〒804-0061 北九州市戸畑区中本町1-1 岡崎ビル2階



骨伝導式ヘッドフォンで、パソコンの音声を聞きながらパソコン操作。これにより周囲の音も聞こえる

就労支援機関の役割

障害者就業・生活支援センターとは

福岡県では、平成23年度より、県内すべての保健福祉圏域13カ所に障害者就業・生活支援センターが設置されました。

当センターでは、障害のある方々を身近な地域で、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関とのネットワークを形成し、障害者の就業面の支援及び就業に伴う生活面の支援を一体的に行います。「企業就労にどんな準備が必要か」「仕事が長続きしない」「働いているが悩みがある」など、相談内容に応じて必要な助言やサポートをしていきます。

また、企業の方々からの相談(雇用に関する相談等)にも応じています。「障害のある方を受け入れたい」「受け入れたいが、できる仕事が見つからない」等、どんなことでもかまいません。入職した後のフォローアップも実施しており、企業と共に障害のある方の就労を考えることができるセンターです。

就労支援事例

希望を叶えて事務職に。
明るく素直な姿勢と向上心が原動力。

本人プロフィール

氏名：北條 みすづ 氏 (年齢 21歳)
手帳：身障手帳 1級(視覚障害 左無眼球による両眼視力障害 右 0.01・左 0)
就労歴：なし(高等部卒業後、能開校の利用)
資格：日本商工会議所PC検定3級(データ活用)
日本商工会議所PC検定3級(文書作成)
全国経理教育協会主催簿記能力検定3級

相談の経緯

平成24年3月に福岡障害者職業能力開発校を修了。短時間の就労先は決まったが、フルタイムでの就労には至らず悩んでいた。婚約を期に引っ越し、管内の就業・生活支援センターに相談に来所された。

相談後からの具体的取りくみ

就職活動と平行して、自宅から近く、就労支援にも力を入れている事業所(就労継続支援事業B型)の利用を開始。

2社の求人に応募するも、障害的に業務が遂行できないと企業側が判断し、不採用となる。本人はPCや事務的な仕事を強く希望しており、本人及び協力企業との相談を重ね、「大東コーポレートサービス株式会社」で実習(委託訓練)を実施し、採用に至った。

企業との関わり

「大東コーポレートサービス株式会社」とは、過去に当該センターの相談者(知的障害者)2名を採用していただいた経緯があり、その後も継続したフォローアップを行ってきた。企業側から他にも就労希望者がいないか相談されたことがあり、今回、企業に連絡したところ、受け入れを考えたいとの返事があった。

就業面での支援

●就業に関する支援

- ・就職に向けた相談支援
- ・就職に向けた準備支援(職場実習又は職業準備訓練のあっせん等)
- ・就職活動の支援(ハローワーク・企業面接への同行等)
- ・職場定着に向けた支援(職場訪問による適応状況の把握等)

●障害特性を踏まえた雇用管理についての事業所に対する助言

●関係機関との連絡調整

※企業、ハローワーク、障害者職業センター、就労系サービス事業所、特別支援学校、医療機関、行政機関、保健所、福祉事務所 等々。

生活面での支援

●日常生活・地域生活に関する支援

- ・生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言
- ・住居、年金、余暇活動など地域生活、生活設計に関する助言

●関係機関との連絡調整

実習に当たって

本人への支援として、最寄り駅から会社までの通勤訓練を当センターで実施(往復・2日間)。実習中も企業に訪問し、本人の業務状況の確認や把握、企業との調整等を行った。

企業の担当者が視覚障害者と関わりを持った経験があり、社内のレイアウトに関する案内(動線)、通路上の障害物の除去等、本人に対する配慮など受け入れがスムーズだった。実習中も拡大読書機の準備や、書類の封入作業時に使用する治具(封筒に書類を入れるための手作りの枠)等を作っていただき、業務遂行が円滑に行えた。

[基本的な本人の業務内容]

- ・冊子や書類の封入・封緘・数量確認

採用に当たって

平成25年7月16日より10日間の実習(委託訓練)を実施。本人の仕事に対する積極性や向上心、職場内における職員間のコミュニケーション能力が評価され、平成25年10月1日より採用された。

本人の感想

やりがいを感じる実習で、自分に自信が付き、成長することができました。また、補助具等も準備していただき充実した実習だったと思います。少し通勤に時間がかかるため、自宅では主人が協力してくれ夫婦で力を合わせ乗り切った実習期間でした。職場の理解も得られ、楽しく働けることを嬉しく思います。

就職活動や実習に際し、大きな不安もありましたが、就業・生活支援センターの職員の方が相談や実習期間も会社に来てくれたので、安心して就職活動に取り組みました。

企業担当者の感想

当事業所では視覚障害者の雇用は初めてで、本人が職場環境に馴染めるか不安もありました。しかし慣れない環境のなかにおいても、作業に取り組む本人の様子からは、仕事に対する「やる気」と「向上心」が感じられました。うまくいかないときにも、指導や助言を素直に聞き、正確に仕上げることができました。これらは私たちが求めるものでもありました。

また、彼女の明るく気持ちの良い挨拶や返事は、職場を明るくしてくれる力を持っていました。



すっきり整理された職場環境



拡大読書機を使用し記名を行っているところ



治具(ジグ)を使用してのり付けをしているところ

会社概要

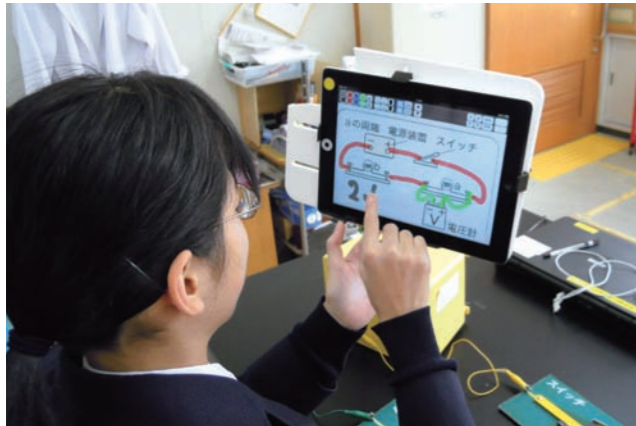
社名/大東コーポレートサービス株式会社
代表者/代表取締役社長 村田洋司
本社/東京都港区港南2丁目16番1号
設立/2005年(平成17年)5月6日
資本金/1億円(大東建託株式会社100%出資)
社員数/87名(内障害者55名)2012年10月現在
事業所/本社(東京都港区)北九州(北九州市八幡西区)
浦安(浦安市ワークステーション内)
その他/大東建託株式会社の「特例子会社」
(障害者雇用促進法44条に定める子会社)
(2005年8月1日認定)

教育の現場

福岡県の視覚特別支援学校

福岡県には県立の視覚特別支援学校（盲学校）が4校あります。そのうち、福岡視覚特別支援学校（筑紫野市）と柳河特別支援学校（柳川市）は、幼稚部・小学部・中学部のみの学校です。現在、福岡県で高校卒業資格を取得できるのは、福岡高等視覚特別支援学校（筑紫野市）です。

iPadを使った理科の勉強



見えにくい生徒も使える顕微鏡

パソコンの授業風景

いずれの学校も、入学のためには学校教育法施行令で定められた入学資格があり、入学選考検査も行われます。

また、遠方で通学が困難な人のためには、寄宿舎も設置されています。また、各種奨学金や就学奨励費等の経済的な支援もあります。

北九州視覚特別支援学校

〒805-0016 北九州市八幡東区高見5丁目1-12
TEL 093-651-5419 FAX 093-651-9095
<http://kita-vss.fku.ed.jp/Default1.aspx>

本校は、幼・小・中学部の他に高等部専攻科理療科を設置しています。この専攻科では、高校卒業後3年間学び、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の免許を取得することができます。国家試験を受験し、免許取得後は、医療機関や治療院への就職、あるいは自ら治療院を経営する等により社会的自立をすることができます。また、在学中は、あはきの専門教科の学習だけでなく、理療の事務処理等に应用するために情報処理機器の学習等も行います。
※あはき…あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師

福岡高等視覚特別支援学校

〒818-0014 筑紫野市大字牛島151
TEL 092-925-3053 FAX 092-925-8101
<http://fukuh-vss.fku.ed.jp/html/>

高等視覚には、職業課程として次の学科を設置しています。

1. 本科保健理療科

中学校卒業資格の視覚障害者のための学科で、高校卒業資格とあん摩マッサージ指圧師国家試験受験資格を取得することができます。

2. 専攻科保健理療科

高校卒業資格の人が、あん摩マッサージ指圧師資格を取得するための学科です。

3. 専攻科理療科

高校卒業資格の人が、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師資格取得のための学科です。

4. 専攻科研修科

あはきのいずれかの免許所有者を対象に、理療に付加価値をつけるために設置された学科です。3つのコースがあり、情報処理コースでは理療の事務処理のための情報処理機器の学習を行います。再研修コースでは、理療の臨床のための知識と技術の向上を目的としています。産業理療コースは、ヘルスキーパー（企業内理療師）の育成を目的としています。

職業訓練の現場

国立県営福岡障害者職業能力開発校では、平成22年度から1・2級の重度の視覚障害のある方を対象とする重度視覚障害者の職業訓練（流通ビジネス科音声パソコンコース 5名）を開始し、音声ソフトなどの補助機器を使用しながら、流通業での一般事務での就職を目標に訓練を行っています。

依然として視覚障害者の事務職での就職は難しい状況ですが、少しずつ成果が表れています。

国立県営福岡障害者職業能力開発校

〒808-0122 北九州市若松区大字蛸住 1728 番地 1
TEL 093-741-5431 Fax 093-741-1340
<http://fukuoka-kunren.net/index.html>

入校・就職状況

インターンシップを実施し、企業の方にも視覚障害者の受け入れ体験をしていただいています。

また、インターンシップから就職に結びつくケースも出ています。

年度	入校人数	修了人数	就職人数
2 2	5	5	2
2 3	4	4	1
2 4	5	5	4
2 5	2		



音声パソコンを利用し、エクセルでグラフを作成

訓練機器

音声パソコン（OSはWindows7、読上げソフトは、JAWS10、MS-Office2003、2007）を使用し、点字ディスプレイ、点字プリンタ、立体コピー、拡大読書器などの機器を備えています。※状況によりPC Talkerも使用。

JAWSを利用してパソコン操作の基礎から各種アプリケーションソフトの操作、音声ソフト、パソコンの各種設定の技術を習得します。また、状況により拡大読書器等の使用方法も指導します。

訓練内容

1日7時限、1年間、パソコン操作のスキルだけでなく、ビジネスシーンにおける基本的な知識、ビジネスマナー等の習得も実施しています。視覚障害者はマウスの利用が難しく、パソコンはすべてキーボード操作となります。

- 情報機器を利用して膨大な情報の中から必要な情報を抜き出し活用するための知識（情報リテラシー）の習得と日商PC検定（知識問題）対策
- 操作しやすいパソコン環境を自分で作るためのWindows設定
- スクリーンリーダー（JAWS）の操作習得と初級JAWSスクリプト
- 109キーボード全部のキー配置を覚えるキーボード練習
- 電子化した例文を聞き、メモ帳に切り替えて文章を入力する練習
- Word基本操作の習得と日商PC検定（文書作成Word）対策
- Excel基本操作の習得と日商PC検定（データ活用Excel）対策
- PowerPointを使ったプレゼンテーション
- Outlookを使ったメール、スケジュール管理
- アクセシビリティに配慮したホームページ作成
- 議事録などの録音データのテープ起こし作業
- 中途視覚障害者のための点字
- 面接訓練、ビジネスマナー訓練
- 日商販売士検定や簿記会計の知識、技能習得（障害の状況により実施）
- 訓練で習得した技能の成果を企業の方に披露する訓練発表会の実施

雇用のための各種助成措置について

障害者の雇用を促進するため、各種助成金制度や優遇措置が設けられています。ここでは視覚障害者の雇用について利用可能な主な制度についてご紹介します。

受給に当たっては助成金の対象となる要件を満たすほか、事業主が申請期間内に適正な支給申請を行うことが必要となりますので、担当機関の窓口早めに相談することが望まれます。

雇用時の賃金助成

障害者トライアル雇用奨励金

制度概要	障害者の雇入れの経験がない事業主等が、就職が困難な障害者を、ハローワークの紹介により、一定期間(原則3か月間)試用雇用を行う場合に助成するものであり、障害者の雇用に対する不安感等を除去し、以後の障害者雇用に取り組むきっかけ作りや就職を促進することを目的とした制度
奨励金	トライアル雇用を実施した事業主に対して、トライアル雇用終了後、支給対象者1人につき月額最大4万円(最長3か月間)
問合せ先	ハローワーク

特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者雇用開発助成金)

制度概要	ハローワーク等の紹介により、継続して雇用する労働者(雇用保険の一般被保険者)として雇い入れる事業主に対して、一定の金額を一定期間助成するものです。		
助成額	対象労働者	大企業	中小企業
	重度障害者等(*1)を除く 身体・知的障害者	50万円 25万円×2回(計1年間)	135万円 45万円×3回(計1年6か月)
	身体・知的・精神障害者で 短時間労働(*2)の者	30万円 15万円×2回(計1年間)	90万円 30万円×3回(計1年6か月)
	重度障害者等	100万円 33万円×2回、34万円×1回(計1年6か月)	240万円 60万円×4回(計2年間)
問合せ先	福岡助成金センター、ハローワーク		

*1、重度障害者等とは、重度身体・知的障害者、45歳以上の身体・知的障害者、精神障害者をいいます。 *2、短時間労働者とは、1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の者をいいます。

障害者初回雇用奨励金(ファースト・ステップ奨励金)

制度概要	障害者雇用の経験のない中小企業(障害者の雇用義務制度の対象となる労働者数50人~300人の中小企業)が障害者を初めて雇用し、当該雇入れによって法定雇用率を達成する場合に助成するものであり、中小企業における障害者雇用の促進を図ることを目的とした制度
奨励金	奨励金 120万円
問合せ先	ハローワーク

施設設備や支援者の配置に対する助成

①障害者作業施設設置等助成金	障害者の作業を容易にするために必要な施設・設備の設置等: 助成率2/3
②障害者福祉施設設置等助成金	障害者である労働者の福祉の増進を図るため福利厚生施設の設置等:助成率1/3
③障害者介助等助成金	職場介助者等の配置又は委嘱等:助成率3/4他 重度中途障害者等職場適応助成:月額3万円(短時間労働者月2万円)
④重度障害者等通勤対策助成金	通勤対策のための住宅の新築・賃借等、通勤用バスの購入、通勤援助者の委嘱等:助成率3/4
⑤職場適応援助者助成金	雇用する障害者の職場適応援助を行うため第2号職場適応援助者(ジョブコーチ)の配置等: 助成率3/4

*各助成金には支給限度額や支給期間等支給要件が設定されているものがあります。上記の詳細は①~⑤は福岡高齢・障害者雇用支援センターへお問い合わせください。

関係機関一覧

ハローワーク(公共職業安定所)

	名称	所在地	電話	管轄
福岡地区	福岡中央公共職業安定所	福岡市中央区赤坂1-6-19	092(712)8609	福岡市中央区、博多区、城南区、早良区、南区(那の川1~2丁目)、糟屋郡(志免町、須恵町、宇美町)
	福岡東公共職業安定所	福岡市東区千早6-1-1	092(672)8609	福岡市東区、宗像市、古賀市、福津市、糟屋郡(篠栗町、新宮町、久山町、粕屋町)
	福岡南公共職業安定所	春日市春日公園3-2	092(513)8609	福岡市南区(那の川1~2丁目除く)、筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、筑紫郡
	福岡西公共職業安定所	福岡市西区姪浜駅南3-8-10	092(881)8609	福岡市西区、糸島市
北九州地区	八幡公共職業安定所	北九州市八幡西区岸の浦1-5-10(本庁舎) 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ6階(黒崎駅前庁舎)	093(622)5566	北九州市八幡東区、八幡西区、中間市、遠賀郡 ※戸畑区、若松区(事業主の方の雇用保険手続、求人申込手続のみ)
	若松出張所	北九州市若松区本町1-14-12 若松港湾合同庁舎1階	093(771)5055	北九州市若松区 ※事業主の方の雇用保険適用手続、求人申込手続窓口は八幡(本庁舎)です。
	戸畑分庁舎	北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとはた8階	093(871)1331	北九州市戸畑区 ※事業主の方の雇用保険適用手続、求人申込手続窓口は八幡(本庁舎)です。
	小倉公共職業安定所	北九州市小倉北区萩崎町1-11	093(941)8609	北九州市小倉北区、小倉南区
	門司出張所	北九州市門司区北川町1-18	093(381)8609	北九州市門司区
	行橋公共職業安定所	行橋市西宮市5-2-47	0930(25)8609	行橋市、京都郡、築上郡(築上町)
	豊前出張所	豊前市大字八屋322-70	0979(82)8609	豊前市、築上郡(吉富町、上毛町)
筑豊地区	飯塚公共職業安定所	飯塚市芳雄町12-1	0948(24)8609	飯塚市、嘉麻市、嘉穂郡
	直方公共職業安定所	直方市大字頓野3334-5	0949(22)8609	直方市、宮若市、鞍手郡
	田川公共職業安定所	田川市弓削田184-1	0947(44)8609	田川市、田川郡
筑後地区	大牟田公共職業安定所	大牟田市大正町6-2-3	0944(53)1551	大牟田市、柳川市、みやま市
	久留米公共職業安定所	久留米市諏訪野町2401	0942(35)8609	久留米市(城島町を除く)、小郡市、うきは市、三井郡
	大川出張所	大川市大字小保614-6	0944(86)8609	久留米市(城島町)、大川市、三井郡
	八女公共職業安定所	八女市馬場514-3	0943(23)6188	八女市、筑後市、八女郡
	朝倉公共職業安定所	朝倉市菩提寺480-3	0946(22)8609	朝倉市、朝倉郡
福岡助成金センター	福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館1階	092(411)4701	ハローワークで取り扱っている各種助成金の受付を行っています。	

障害者に関する各種施策、相談等

名称	所在地	電話
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 福岡障害者職業センター	福岡市中央区赤坂1-6-19 ワークプラザ赤坂5階	092(752)5801
北九州支所	北九州支所北九州市小倉北区萩崎町1-27	093(941)8521
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 福岡高齢・障害者雇用支援センター	福岡市中央区舞鶴2-1-10 ORE福岡赤坂ビル5階	092(718)1310

教育・職業訓練

名称	所在地	電話
福岡県立福岡高等視覚特別支援学校	筑紫野市牛島151	092(925)3053
福岡県立北九州視覚特別支援学校	北九州市八幡東区高見5-1-12	093(651)5419
国立県営福岡障害者職業能力開発校	北九州市若松区大字蛸住1728-1	093(741)5431

障害者就業・生活支援センター

名称	所在地	電話	活動地域
障害者就業・生活支援センター野の花	福岡市中央区六本松1-2-22	092(713)0050	福岡市・糸島市
障害者就業・生活支援センターちどり	古賀市久保1343-3	092(940)1212	古賀市・糟屋郡
障害者就業・生活支援センターはまゆう	宗像市田熊5-5-1	0940(34)8200	宗像市・福津市
障害者就業・生活支援センターちくし	春日市春日公園5-16	092(592)7789	筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・筑紫郡
障害者就業・生活支援センターちくぜん	朝倉市筑前町東小田3539-10	0946(42)6801	朝倉市・朝倉郡
障害者就業・生活支援センターほるて	久留米市天神町101-1	0942(65)8367	久留米市・大川市・小郡市・うきは市・三井郡・三井郡
障害者就業・生活支援センター「デュナミス」	八女郡広川町大字新代1110	0943(32)4477	八女市・筑後市・八女郡
障害者就業・生活支援センターほっとかん	大牟田市新栄町16-11-1	0944(57)7161	大牟田市・柳川市・みやま市
障害者就業・生活支援センターBASARA	飯塚市吉原町6-1	0948(23)5560	飯塚市・嘉麻市・嘉穂郡
福岡県央障害者就業・生活支援センター	直方市須崎町16-19	0949(22)3645	直方市・宮若市・鞍手郡
障害者就業・生活支援センターじゃんぶ	田川市大字夏吉4205-3	0947(23)1150	田川市・田川郡
北九州障害者就業・生活支援センター(北九州障害者しごとサポートセンター)	北九州市戸畑区汐井町1-6	093(871)0030	北九州市・中間市・遠賀郡
障害者就業・生活支援センターエール	行橋市南泉2-50-1	0930(25)7511	行橋市・豊前市・京都郡・築上郡

視覚障害者の見え方

視覚障害者は全盲と思われがちですが、実際には、「見えているけれども小さい文字は読めない」という人が大多数です。これらのロービジョン(弱視)者は、目の疾患や症状によって、100人いれば100通りの見え方があります。どんな見え方をしているのかを把握し、一人ひとりに合った支援を行うことが大切です。

近年では、視覚障害者のパソコン操作をサポートするために、様々な機器が開発されています。事務職を希望する視覚障害者は徐々に増えており、それぞれの症状やニーズに応じて支援機器を活用しながら仕事を遂行しています。

主な症状

- 視野が狭くなる(視野狭窄)
- 暗いところで物が見えにくい(夜盲・とりめ)
- 視野の中心部が見えない(中心暗点)
- 光がまぶしく周りの景色が見えにくい(まぶしさ)
- 角膜が白く濁ったようになり、目のかすみを感じる(混濁)
- 自分の意思とは関係なく眼球が動く(眼振)
- 暗い場所と明るい場所を移動した際、見えるまで時間を要する(明順応障害・暗順応障害)
- 距離感の把握や、目標物をハッキリ見るための調節機能がうまく働かない(ピンボケ)

※視覚障害者の見え方は千差万別です。複数の症状を併せ持っている人もいます。

企画・発行

特定非営利活動法人 ふくおか視覚障害者雇用開発推進センター
～NPO法人 キャリアセンターあい～

編集/神田優紀 デザイン/渡辺ハルミ

2014年2月発行